豊かな心を育む保健学習のあり方

～特別支援学校における性教育の実践～

高知大学教育学部附属特別支援学校　教諭　中尾隆文

　　本研究の目的は、特別支援学校における「自己肯定感を育む性教育のあり方」について実践的に研究することである。

そこで、特別支援学校高等部の生徒を対象として、障害特性や課題を考慮した学習集団を編成したうえで年間授業計画を作成するとともに、生徒の自己肯定感に視点を当てた授業のフレームづくりを行い、それに基づいた授業を実施した。また、授業展開においては、授業におけるルールづくり、視覚教材の活用、生徒相互のかかわり合いを大切にするグループワークを重点的に取り入れた。授業の検証に当たっては、ビデオ記録や生徒の感想文等の分析を行った。

　　その結果、授業中の生徒の様子や感想文等から、自分のことを大切であると感じたり、相手の立場で考えることの大切さについて気付いたりするなど、自己肯定感の高まりにかかわる変容が得られた。また、自己肯定感にかかわる生徒アンケート調査においても、肯定的な変化が見られた。

キーワード：特別支援学校　性教育　自己肯定感　授業づくり